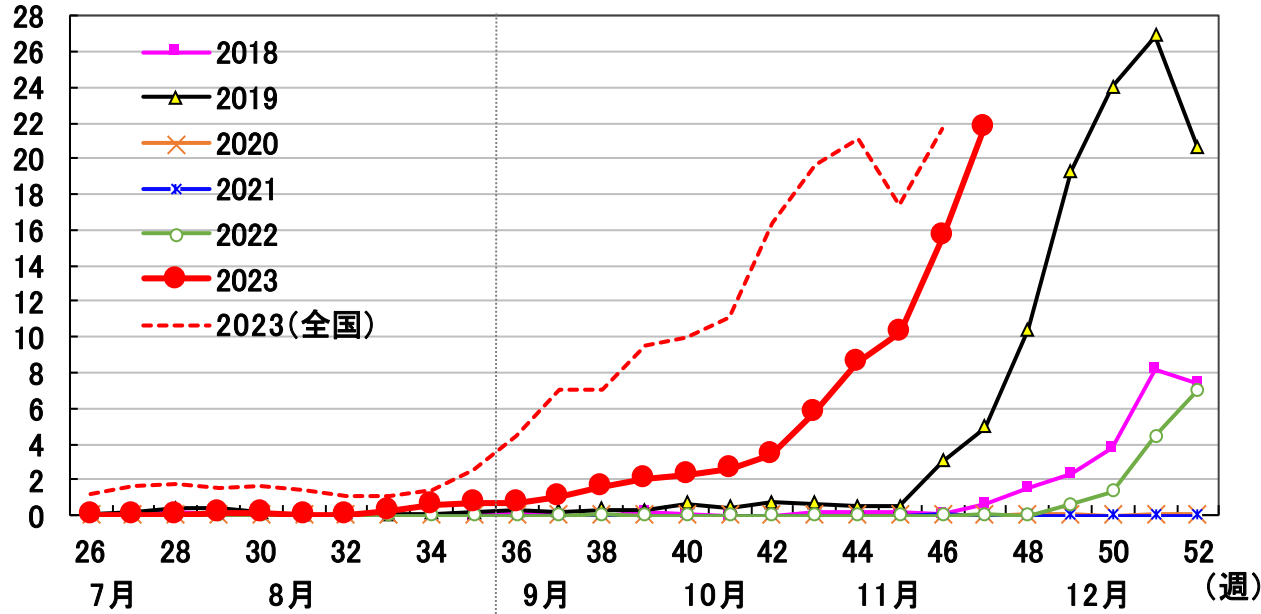


インフルエンザの発生状況(富山県)

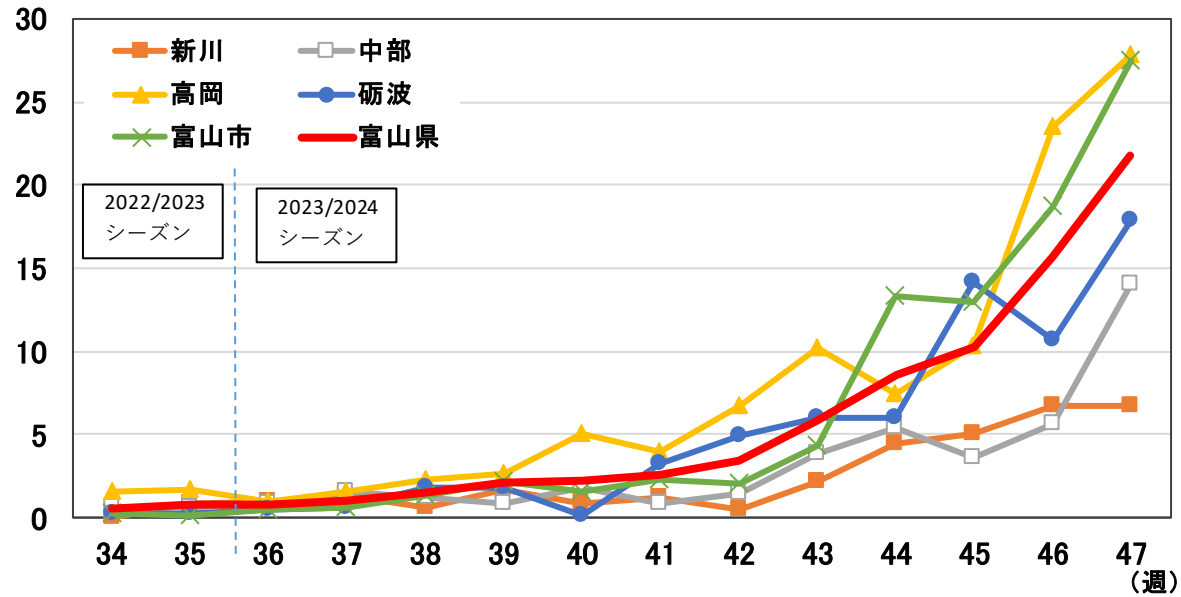
【第47週(2023/11/20~11/26) 感染症発生動向調査速報値 (2023/11/29時点)】

(人/定点)

図1. 患者報告数の推移(富山県)



(人/定点) 図2. 厚生センター・保健所別患者報告数(2023/2024)



- 富山県の患者報告数は今週（第47週）**21.73**人/定点となり、先週（15.71人/定点）から大幅に増加した。
- 厚生センター・保健所別に見ると（図2）、新川管内以外で先週より増加し、注意報レベルの目安である10人/定点を超えている。

図3. 年代別割合(富山県、第47週)

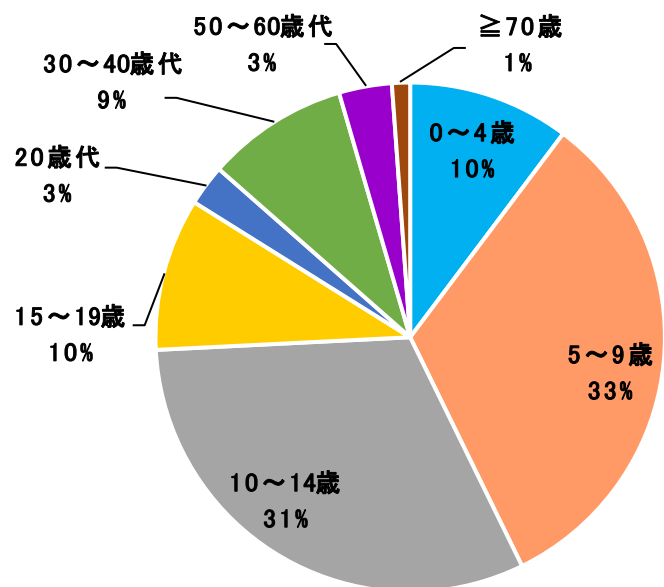
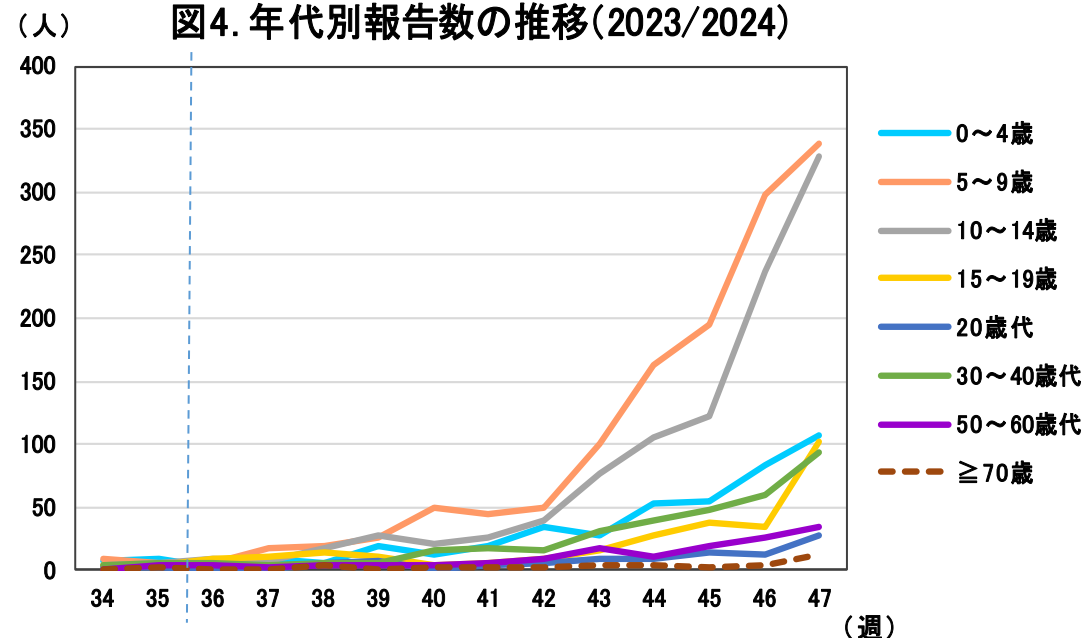


図4. 年代別報告数の推移(2023/2024)



- 富山県の第47週の年代別割合（図3）では、15歳未満の小児が74%を占めた。15~19歳の割合が先週の4%から増加した。
- 年代別報告数の推移（図4）では、全年代で先週から増加し、特に5~9歳（橙）、10~14歳（グレー）、15~19歳（黄）で大幅に増加した。
- インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は第47週に23件（小学校14件、中学校2件、高等学校4件、その他3件）の報告があった。

富山県インフルエンザ関連情報HP：<https://www.pref.toyama.jp/120507/kurashi/kenkou/iryuu/kj00007295.html>

図5. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第46週)

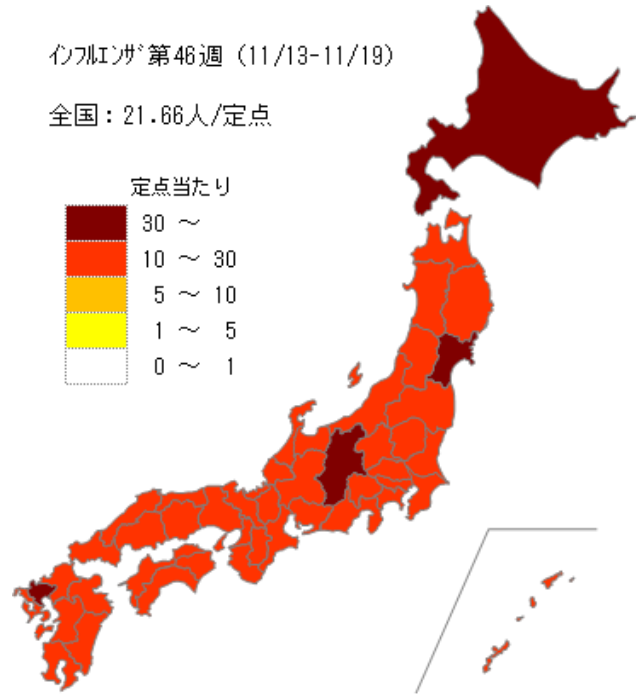
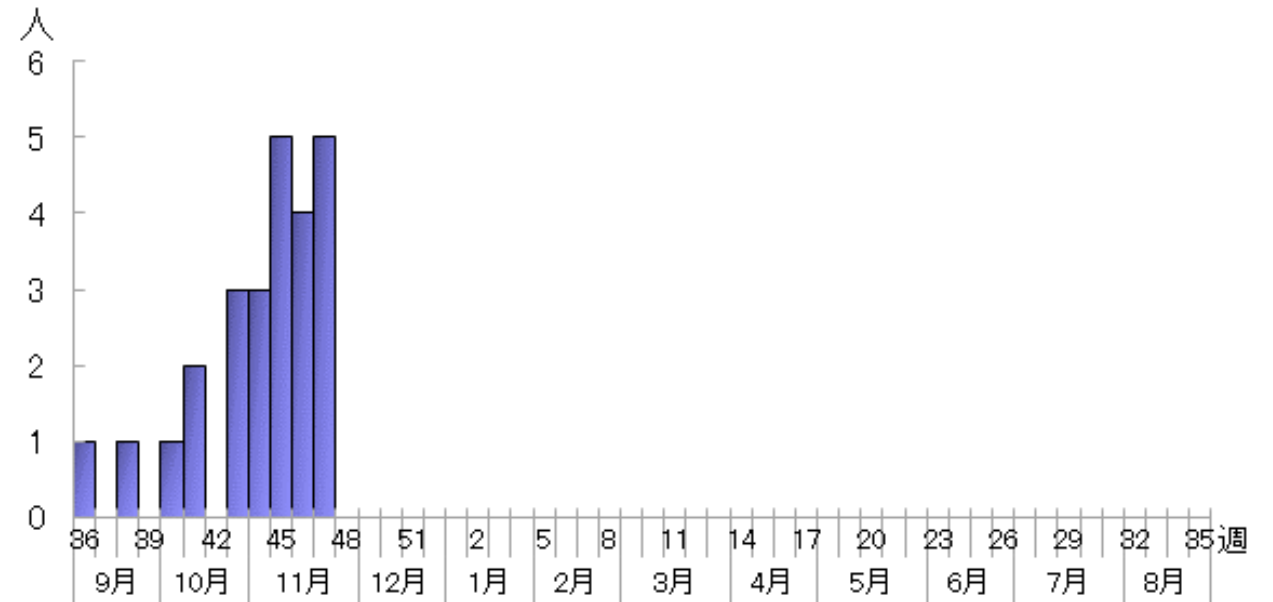


図6. インフルエンザ入院患者報告数(第47週)



- 全国では第46週に21.66人/定点となり、第45週（17.35）から増加した。都道府県別（図5）では、全ての都道府県で注意報レベルの目安である10人/定点を超えている。また、その内4道県で警報レベルの目安である30人/定点を超えている。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランス（図6）では、第47週に5例の報告（5歳未満：1例、5～9歳：1例、10歳代：2例、80歳代：1例）があった。
- 今シーズンは、例年より早期にインフルエンザの流行が認められた。患者報告数の増加が続いており、今後の発生動向を注視する必要がある。